

# 高温に対する農作物への影響と技術対策

令和5年5月1日

中部普及指導課

令和5年4月27日発表の関東甲信地方の向こう2週間の気温は暖かい空気が流れ込みやすいため、5月3日頃からはかなり高くなる可能性があります。

このため農作物や家畜等への影響が心配されますので、今後の気象情報に留意して下さい。

## 1. 共通事項

- (1) 高温が続くことにより、農作物の生育ステージの急激な前進が想定される場合は、農作業計画の適切な見直しや農業資材等の確保に留意する。また、病害虫発生予察情報の収集に努める。
- (2) この時期は寒の戻りによる低温、晩霜、降ひょう等の発生に注意し、最新の気象情報を確認する。
- (3) その他、専門的な対策についてはそれぞれの技術資料等を参考に対策を講じる。

## 2. 麦類

収穫が早まる恐れがあるため、コンバイン等の機械類の清掃を徹底し、あらかじめ済ませておく。また乾燥調製施設の整備体制を考慮し、適期収穫となるよう気象予報等に留意した計画的かつ効率的な収穫作業に努める。

## 3. 農作業安全（人の暑熱対策）

高温環境下で作業を行う場合は、熱中症対策として、長時間作業を避け、こまめな水分と塩分の補給や休憩を取るよう心掛ける。

特に、高齢者は、のどの渇きや暑さを感じにくく、気がつかないうちに熱中症になる可能性があるため単独での作業を避け、定期的に休憩をとるなどの対策をおこなう。

※ 農林水産省ホームページ（農作業安全対策関連）

[http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/index.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html)

※ 環境省熱中症予防情報サイト（熱中症環境保健マニュアル）

<http://www.wbgt.env.go.jp>